

# 抜き打ち調査実施報告書

法人名	社会福祉法人「晋栄福祉会」
施設名	ケアホーム 中山ちどり
実施日 年 月 日 時 間	開始 2015年 10月 1日 (木) 23時 45分 終了 2015年 10月 2日 (金) 9時 15分
評価者名	是枝祥子 養田日登美 本間郁子

※結果（運営基準の順守）

抜き打ち調査 の職員の対応	タクシーを下車すると玄関ドアが開いた。宿直者が仕事中でタクシーが止まる音に気がつき開けたとのこと。対応は丁寧で適切だった。施設長、生活相談員がまだ仕事しており、施設長へ抜き打ち調査実施票を手渡した。夜勤者の対応は適切でしっかり対応してくれたのは、抜き打ち調査の周知徹底と理解が得られていることの証である。
------------------	--

夜勤者数	6名（重要事項説明書通り）
拘束の有無	全居室（自室から鍵をかけている人以外）を確認した結果、夜間中のベッド柵などの拘束は無し。朝食時に、車椅子 T 字帯拘束、手袋 2 人の拘束が認められた。コンプライアンスは守られており、家族の同意が得られ、検討の議事録があった。
プライバシーの確保	全居室はドアが閉まっており、プライバシーが守られ、排泄介助も適切であった。
不適切な対応	無し。夜間、ほとんどの方が安心して休まれている様子を伺うことができた。コール対応も敬意を持った対応で、不適切な状況は全く見受けられなかった。

## 【特記】

施設長はその日、家族室で泊まった。抜き打ち調査終了後 8:00～9:00 まで管理職ミーティングがあるということで、そこで、簡単な報告（写真を見てもらいながら）を行った。

夜勤の職員 2 人に「晋栄福祉会の理念」を尋ねると全員が言うことができた。夜勤体制はコンプライアンスが守られていた。

居室やトイレの臭いはなく完璧なほどであった。それは換気扇をしっかりと回しているだけではなく、排泄介助のスキルが非常に高いことと清潔に対する意識が高いということである。

朝 8:00 くらいに入居者が亡くなられた。その対応は冷静で家族への配慮（お茶を出したり、担当の職員が意向を聞いて対応するなど）があり、スムーズに最期のお見送りができていた。

指摘事項としては、拘束している人の検討が 1 年近く続いているということで、拘束廃止に向けた取り組みを急ぐことと、ビニールエプロンを着用している人が多く見受けられるため、精査する余地があるのではないかと伝えた。

居住環境は、パブリックスペース、セミパブリックスペースに季節感があり、昨年度とはまた違ったより良い環境づくりができていた。

日ごろの職員の努力に敬意を表したい。

施設長から国土交通省より環境整備に 800 万円の助成金を頂くことになったという報告があった。屋上ガーデンが近隣の保育園児と共に過ごせる楽しい場になることが期待される。

評価者からは、全体的に昨年の指摘に対する改善がみられ、新しい取り組みもなされており、職員の意欲と意識そして日ごろの努力を認めることができた。夜間誰も見ている人がいなくても、ゆっくりと静かに本人にわかるように声をかけており、丁寧な対応が入居者の安心になっていると感じた。基本姿勢が身につけていることも高く評価するというコメントがあった。